防災ボランティアしんとう視察研修会

福島県いわき市

10月29日、福島県いわき市において4年ぶりに視察研修会を実施しました。

はじめに、震災の記憶や教訓を風化させず確実に後世へと伝えていくことを目的とされている「いわき震災伝承みらい館」を視察し、東日本大震災の発災から復旧・復興までのテーマ別のパネル展示や卒業式当日に津波被害にあった中学校の備品などが展示されており、参加者は、じっくりと真剣に見学されていました。

また、大震災を体験された「震災語り部」の方と被災地を巡回し、経験された当時の辛い記憶や復旧・復興・教訓を丁寧に説明いただきました。

参加された会員は、震災後南相馬市において行った復興支援ボランティア活動を振り返りながら、日頃から防災や災害を意識し、地域活動の積み重ねの大切さを改めて感じられたようです。

靖國神社参拝事業

遺族の減少や高齢化と共に戦争で犠牲になられた方々の記憶も風化しつつあるなか、靖國神社を参拝されたことのない遺族もおり、国家防衛の為に亡くなられた方々の神霊が祀られている靖國神社を参拝し、哀悼の意を捧げ、さらに「遊就館」を拝観し、英霊のこころや事蹟を知り、後世にわたり英霊の顕彰を行うことを目的に「靖國神社参拝事業」を実施しました。

▲靖国神社

また、海外で亡くなられた戦没者の御遺骨で氏名不詳のためご遺族にお渡しできない御遺骨を埋葬する「千鳥ヶ淵墓苑」を訪れ献花、参拝を行いました。

◀千鳥ヶ淵墓苑